

この文書はお客様が入稿データをご確認いただく際のガイドラインとなっております。不明点等がございましたら、弊社担当営業までご相談ください。

入稿データの内容につきましては弊社にて確認致しますが、不明点等が見つかった場合は出力が中断してしまいます。入稿前にご確認いただけますと工程がよりスムーズに運びますので、ご協力お願い致します。

アイコンの説明 InDesign Illustrator Photoshop PDF

① 仕上がり原寸のデータ作成と断ち伸ばし処理

- 「ドキュメント設定」にて、ページサイズが印刷時の仕上がり寸法と同じであることを確認下さい。また、裁ち落とし寸法が 3mm であることを確認下さい。
- 次のいずれかであることを確認下さい。
— 「ドキュメント設定」のアートボードサイズが印刷時の仕上がり寸法と同じである事
— トリムマークの仕上がりサイズが印刷時の仕上がり寸法と同じである事
- 背景のオブジェクトや画像については、仕上がりサイズから 3mm 外側の裁ち落とし領域までデータを作成してください。

② 原寸カンパの出力

- 弊社にてデータを出力後、カンパ通りの体裁であることを確認しますので、原寸でカンパを出力し、入稿データに添付してください。
- 縮小カンパの場合は、カンパに縮小倍率を記載してください。

③ 出力に必要なデータの添付

- 「パッケージ」機能を使用する事で、欧文フォントや画像データをまとめて収集できます。

*** ⑮ルビについて** ルビを自動設定した場合（デフォルト設定）、「パッケージ」機能では収集できないフォントがあります。親文字で指定したフォントの全ファミリーを添付してください。ライセンスの都合などで、添付できないフォントに関しては、ドキュメント上でのアウトライン化をお願い致します。

- パッケージ版の CS3 ~ CS6 には「パッケージ」機能はありませんが、Creative Cloud 版の CS6 以降であれば InDesign と同等の「パッケージ」機能を使用できます。
- 「パッケージ」機能では、配置データに更に配置されたデータ（孫データ）は収集されません。弊社にて配置データを訂正・編集する際には孫データを必要としますので、手動での孫データ収集をお願い致します。

④ 最終データのバックアップ

- 入稿時の方がーのトラブルに備え、お客様にて最終データのバックアップをお願い致します。

⑤ ドキュメントのカラースペース

- CS4 以前の場合はドキュメントを新規に作成すると自動的に CMYK カラースペースが適用されます。CS5 以降の場合は、「ドキュメント設定」にてドキュメントプロファイルが「プリント」となっている事をご確認ください。（「プリント」以外の場合は RGB カラースペースのドキュメントです。）
- 「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」にて「CMYK」にレ点チェックが入っている事をご確認ください。

⑥ 特色の名前

- データに特色を使用した場合、データ入稿仕様書の「出力ファイルについて」→「データ制作色」→「備考」欄にデータの特色名を記入してください。併せて、ドキュメントの特色名と全ての配置データの特色名が同一であることを確認してください。

⑦ 総インキ量

- データの総インキ量が 340%（新聞印刷の場合は 240%）を超えると印刷時にインキが乾きにくくなり、ブロッキング（裏写り）などが発生しやすくなります。
- Acrobat Pro を活用した最大インキ量の確認を推奨致します。ドキュメントから PDF を書き出して Acrobat Pro で開き、「出力プレビュー」機能を使用する事で、最大インキ量の確認が可能です。

⑧ オーバープリント設定

- データのオーバープリント設定の通りで出力した上でカンパと照合します。カンパにはオーバープリント設定が反映されない事がありますので（プリンタの設定/機種に依存する）、オーバープリントの箇所をカンパに明記してください。
- オーバープリント設定の有無に関わらず、ブラック 100% のテキストとオブジェクトは「ノセ」で印刷されます。「ヌキ」にしたい場合はブラック 99% を設定してください。

⑨ オーバープリント設定（白およびグラデーション）

- オーバープリントが設定された白のオブジェクトは、印刷すると白ノセとなり、透明として処理されるため消えてしまいます。この問題は、以下の通り CC 以降と CS6 以前で対策が異なります。

| | |
|--------|--|
| CC 以降 | ドキュメント設定にて「出力で白のオーバープリントを破棄」オプションのチェックが ON である事をご確認ください（デフォルトは ON）。チェックが ON であれば、プリント時や PDF 書き出し時に自動的に白のオーバープリント設定が破棄されます。 |
| CS6 以前 | CC 以降のようなオプションはありません。「オーバープリントプレビュー」を ON にし、画面上での確認をお願い致します。 |

- 階調を持ったデータ（グラデーションや画像データなど）にオーバープリントを設定した場合、印刷結果に反映されない事があります。ノセにしたい場合は「乗算」等の透明効果を指定してください。

⑩ プロファイルの埋め込み

- CMYK 画像を保存する際、「カラープロファイルの埋め込み」オプションのチェックを OFF にしてください。チェックが ON になっていると予期せぬ色調不良を引き起こす場合があります。
- RGB 画像を保存する際は「カラープロファイルの埋め込み」オプションのチェックを ON にして、カラープロファイルを埋め込んでください。弊社にて RGB 画像を CMYK 変換する際にカラープロファイルを必要とします。（カラープロファイルが埋め込まれていない RGB 画像の場合は、「Adobe RGB」プロファイルを使用します。）

⑪ Photoshop の EPS 保存

- EPS 形式保存する際、「ハーフトーンスクリーン」「トランスファー関数」「ポストスクリプトカラーマネジメント」のチェックを OFF にしてください。チェックが ON になっていると、データ通りの色調とならない場合があります。

⑫ TrueType フォント、欧文フォント

- 同一のフォントでメーカーやバージョンが異なる場合、字形や文字組が変わる可能性があります。トラブルを防ぐため、お客様の環境と同一のフォント環境にて出力しますので、ドキュメントに使用された TrueType や欧文のフォントの添付をお願い致します。
- ライセンスの都合などで添付できないフォントに関しては、ドキュメント上でのアウトライン化をお願い致します。

⑬ 日本語フォントのバージョン

- 弊社ではフォントメーカーの案内に従い、最新バージョンの日本語フォント環境で印刷します。お客様が下位バージョンのフォントをご使用の場合は、弊社とのフォント環境の違いにより字形や文字組が変わる可能性がありますので、アウトライン化をお願い致します。

⑭ 非アウトラインデータとアウトラインデータ

- データ入稿仕様書に記載された出力ファイル名のデータを使用しますが、非アウトラインデータ（テキスト状態を保持したドキュメント）とアウトラインデータの両方を入稿する場合は、必ず内容を一致させてください。
- お客様が弊社の最終データを元に再編集することをご希望の場合は、出力ファイル名の欄に非アウトラインデータ名をご記入いただくか、または入稿時に弊社営業までご相談ください。

⑯ PDF データの確認

- 弊社では「PDF/X-4」規格に準拠した PDF データでの入稿を推奨しております。（「PDF/X-1a」規格の PDF データも対応しております）。PDF/X-4 規格の場合は、RGB やインデックスカラーの使用が許可されていますが、出力時に色味が変化してしまいますので、全てのオブジェクトと画像が CMYK またはグレースケールで作成されている事をご確認ください。（Acrobat Pro の「出力プレビュー」機能にてご確認いただけます。）
- PDF データにフォントが埋め込まれていないと出力ができませんので、PDF 書き出し時にフォントの埋め込み（エンベッド）をお願い致します。埋め込みが許可されていないフォントも存在しますので、PDF データを Acrobat Pro で開き、「ファイル」→「プロパティ」→「フォント」の画面にて、全てのフォントが埋め込まれている事をご確認ください。
- ①~⑬の内容をふまえた PDF の作成をお願い致します。

⑰ PDF の容量

- 弊社にて出力処理可能な PDF の最大サイズは 1 点あたり 2GB までとなっております。2GB を超えている場合は、大サイズ画像の圧縮やページ分割などによる PDF 再作成を、お客様にお願いする事がございます。

※⑮は③に補足事項あり